

インターバンクの声（2016年3月22日）

最近は何事もなく経過することがほとんどだが、かつては日本が祝日の時に限って市場が大荒れになることがよくあった。国内の機関投資家であったり、ドル売り予約を取る必要がある輸出玉を大量に抱える輸出企業も休みとなれば、オーダー以外に邪魔をされる可能性が少ないとあって、海外の投資家やヘッジ・ファンドなどが鬼の居ぬ間に何とやらではないが、東京市場が休場の隙を狙って市場をよく掻き回したものだ。特に昨日のように週明けとなれば、遅くまで残っているニューヨーク勢もおらず、日本以外のアジア勢が中心とあって、半ばやりたい放題の時もあった。そんな荒れ相場になることが僅かばかり心配された昨日の為替市場だったが、穏やかなアジア市場に続いた欧米市場も主要通貨の変動幅が50～70ポイント程度に留まり、複数の米連邦準備理事会（FRB）高官の4月の利上げの可能性に言及したことでドルが小幅上昇する一日だった。今週はいくつかの米経済指標の発表などが予定されているが、キリスト教圏でイースターを挟んでの休日が多くなり、市場も動きづらく、本邦の期末や米国の重要指標が並ぶ来週が要注意の期間になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。